

# コンクリート面及び押出成形セメント板面

## 7章8節: 耐候性塗料塗り(DP) Vフロン#200上塗

公共仕様No.  
DNT-改修・8-3-05

### 使用材料一覧表

	規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JASS 18 M-201 <sup>※1</sup> 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	Vフロン#200プライマー	F☆☆☆☆	Vフロン#200プライマーシンナー
2	JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 1級	Vフロン#200上塗	F☆☆☆☆	Vフロンシンナー

### 塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1	-			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分を除去する。
2	-			素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3	-			特記による。
4	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー	-	全面に塗り付ける。

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。  
 2. 工程5のシーラーは、上塗り塗料製造所の指定するものとする。  
 3. 新規に塗装を行う場合は、RA種(ただし、新規材料面に耐候性塗料塗り以外の塗装を行う場合はRB種)とし、工程1に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。  
 4. JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。  
 5. 屋内で現場塗装する場合、工程5の吸込止めのパテしごきに使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.8.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り【A-1種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1	Vフロン#200 プライマー	白	主剤70: 硬化剤30	5~20	刷毛 ローラー	0.08	16時間以上
				20~30	スプレー		
2	Vフロン#200 上塗	各色	主剤90: 硬化剤10	10~30	刷毛 ローラー	0.14	12時間以上
				20~30	スプレー		
3	Vフロン#200 上塗	各色	主剤90: 硬化剤10	10~30	刷毛 ローラー	0.10	-
				20~30	スプレー		

7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整  
 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。  
 ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り  
 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表7.8.3により、種別は特記による。

- ※1標準仕様書では下塗りとしてJASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラーと記載されていますが、弊社としては「Vフロン#200プライマー」をお薦めします。  
 ※2標準仕様書では中塗りとしてJASS 18 M-405 常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗りを記載されていますが、弊社としては「Vフロン#200上塗」をお薦めします。

#### 注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。  
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。  
 \* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。